

甲府市における

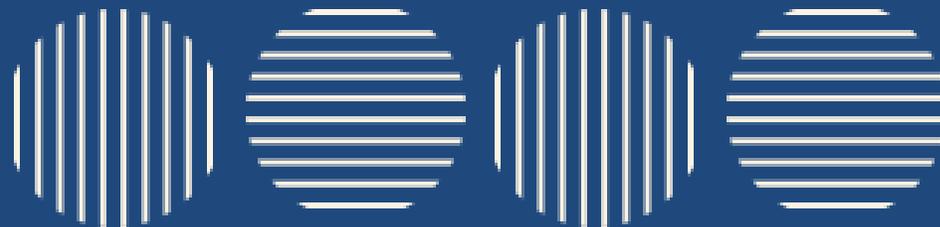
人口減少対策に 関する提言

山梨学院大学 外川ゼミ Aチーム

西山 小林 水野 柳本 奈良 保坂
井上 戸栗 長田 森屋 萩原

担当教員
外川 伸一





— 目次 —

1 はじめに

2 人口減少問題の
現状と問題

3 人口流出問題解決へ
の政策提案

4 結婚件数問題への
政策提案

5 誘致による人口問題
への対策提案

6 まとめ

1



はじめに

1-1 はじめに



私たち山梨学院大学 外川ゼミAチームでは
近年大きな社会問題として挙げられる「人口減少問題」に
注目し、少しでもこの問題を解決できないかと考えた。

現状から対策を考え、甲府市に合った人口
減少問題への政策提案を行う。



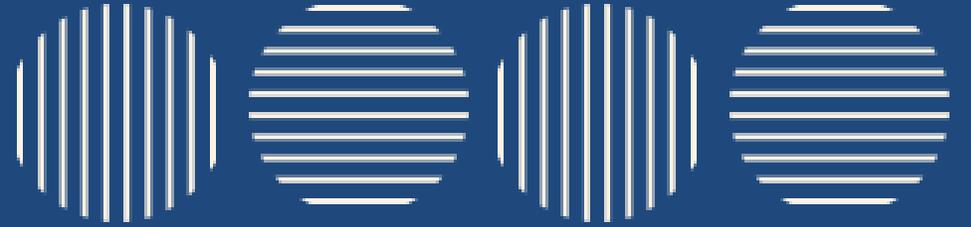
2



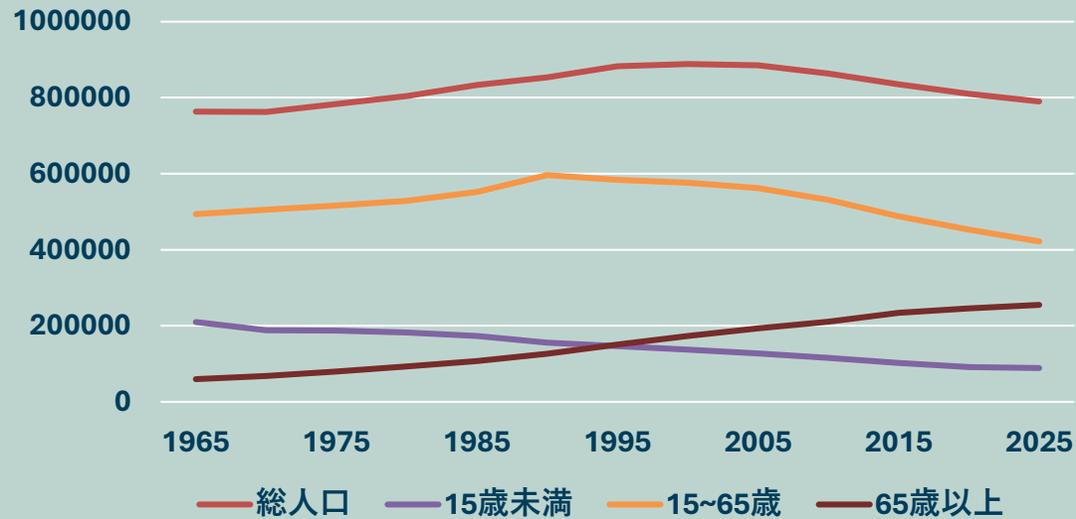
人口減少の現状と問題

2 - 1

山梨県における人口減少の現状



山梨県の人口推移



最大 888,172人 (2005年)



最小 809,974人 (2024年)

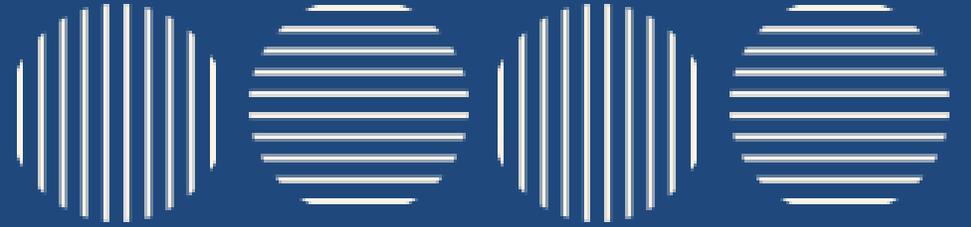


山梨県は全体的に**減少傾向**にある。

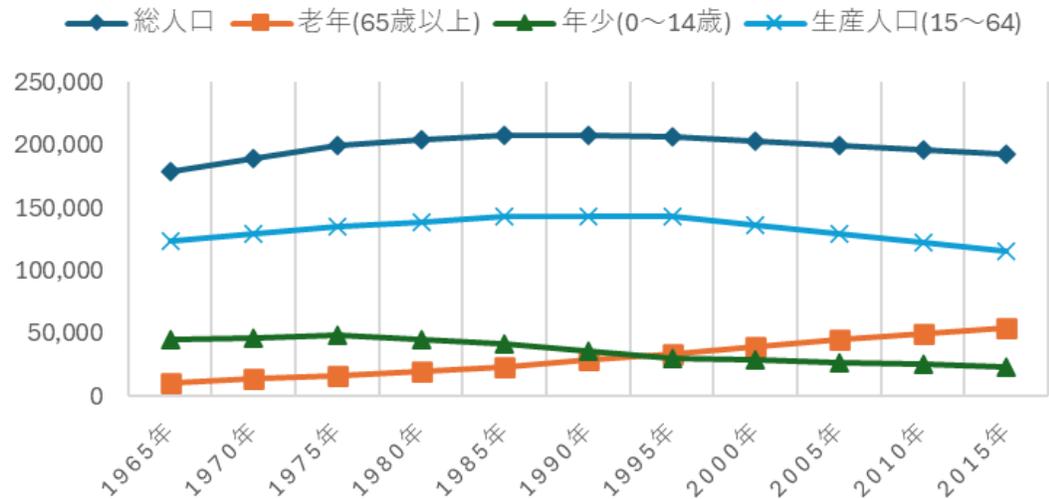
今後も人口の減少が推測される。

2 - 2

甲府市における人口減少の現状



甲府市の人口推移



最大 208,074人 (1885年)



最小 193,125人 (2015年)

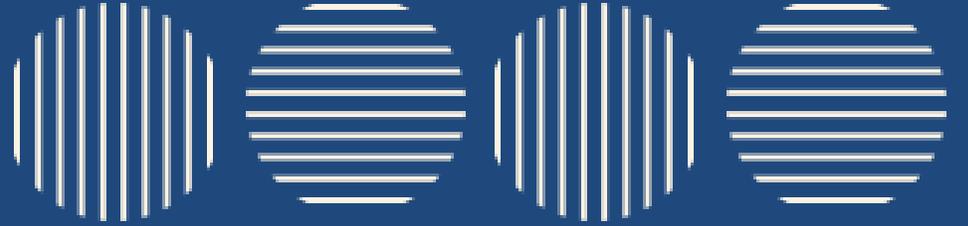


老年(65歳↑)と年少(15歳↓)数値は
1995年をもって、老年が上回る。

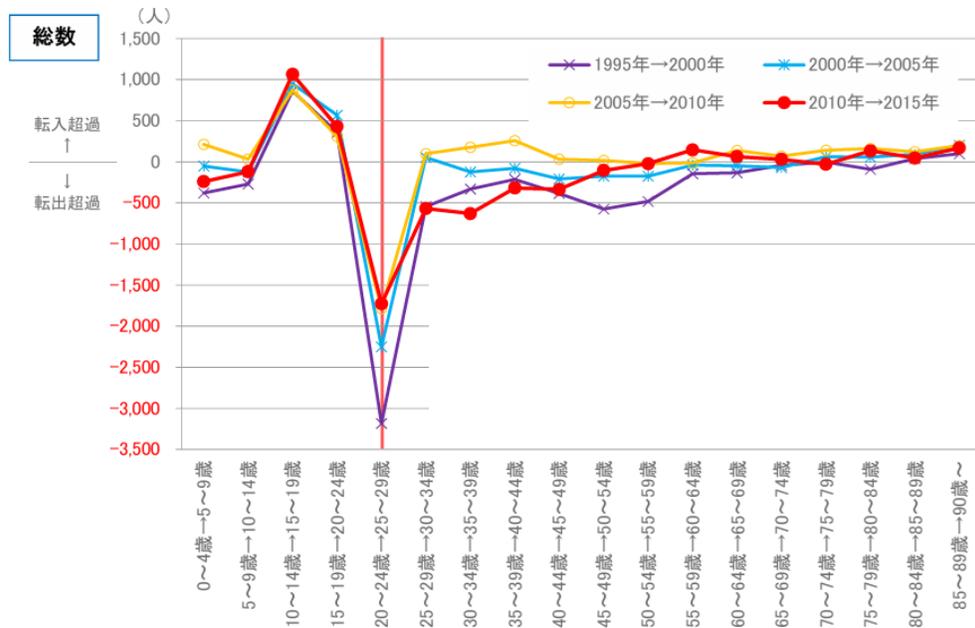
今後も人口の減少が推測される。

2 - 3

人口流出の現状と問題



甲府市の純移動数(転入数-転出数)



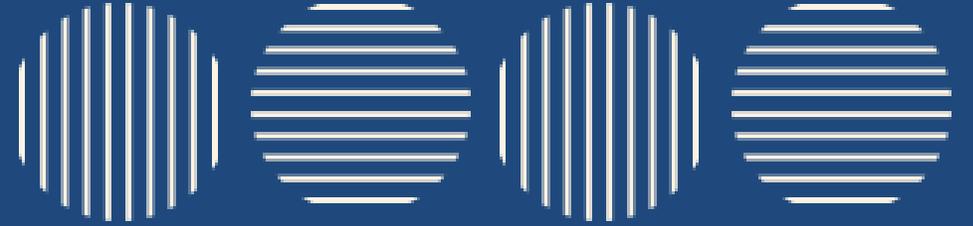
20歳→25歳の間が大幅な
転出超過となっている。

大学就業または就職時に
山梨県から離れていく20代が
多くいる結果である。

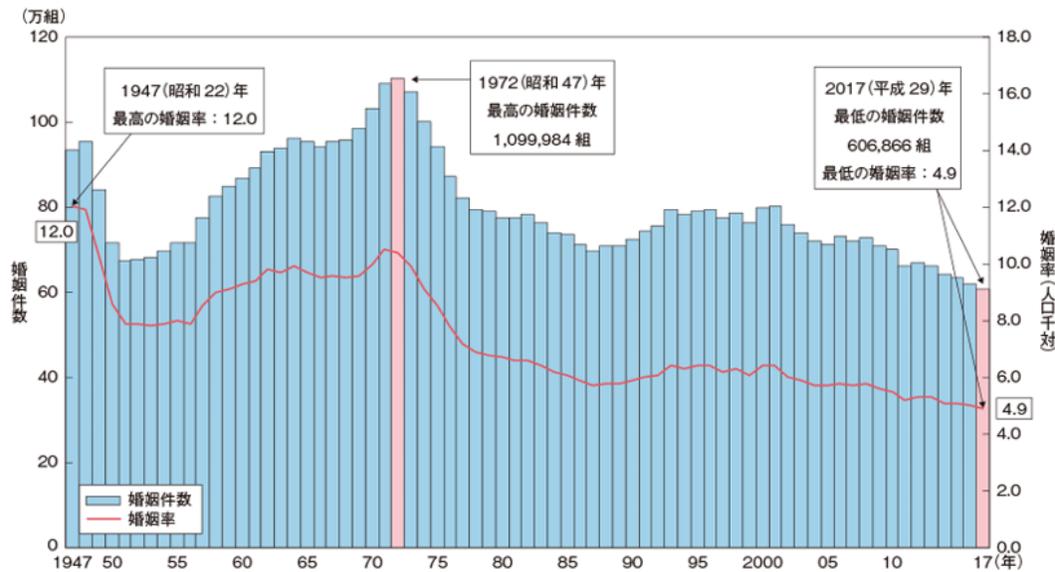
・ POINT 1 ・
20代の流出から、甲府市の将来を支える
若者の働き手の減少が問題である。

2 - 4

婚姻状況の現状と問題



婚姻件数の推移



1972年の最大婚姻件数から明確な低下
婚姻件数の低下は少子化の数値である。



・ POINT2 ・
婚姻件数の低下は少子化を促し、
人口減少問題の大きな問題点である。

2 - 5

就職先に関するアンケート（学内実施結果）と課題点

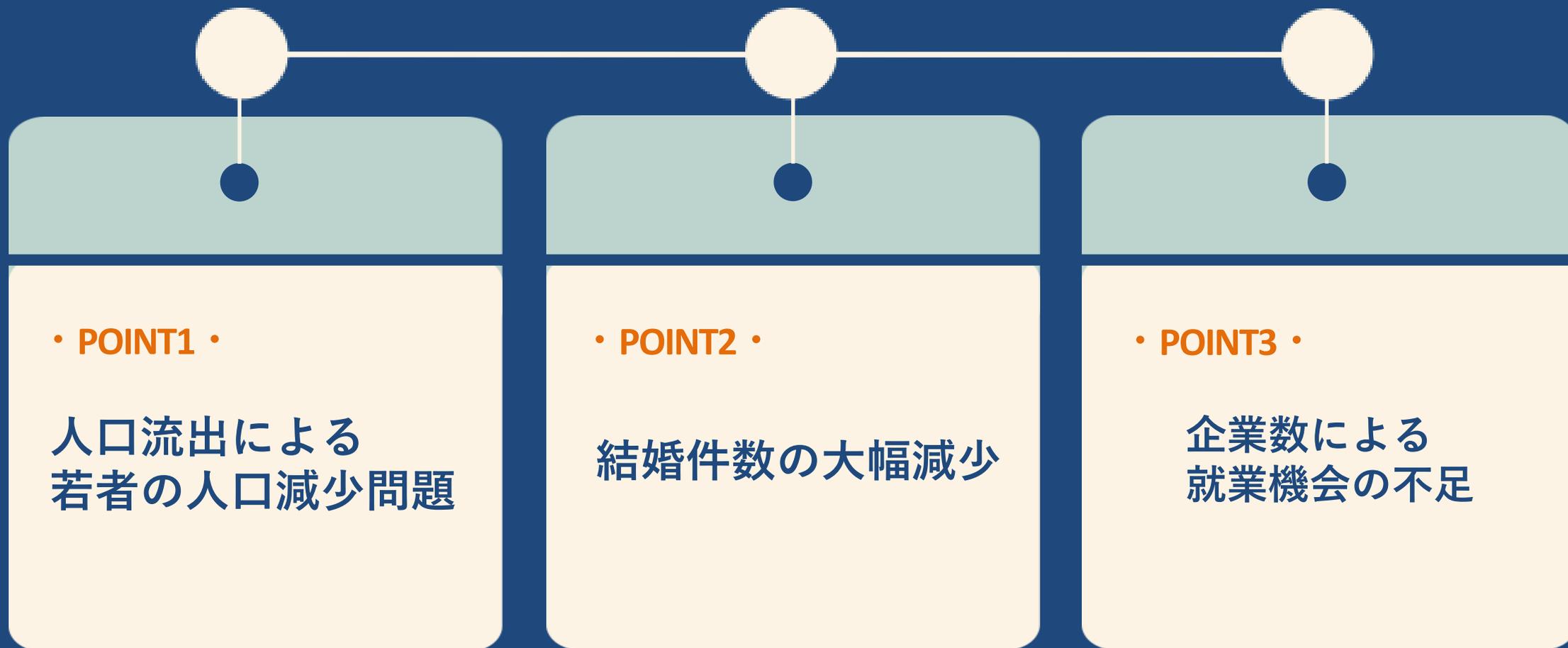
 <p>法学部 Aさん(21)</p>	甲府市には、 魅力のある雇用 が少なくて...	
 <p>高校3年生 Hさん(18)</p>	私の 目指している職種 が県内になくて...	
 <p>法学部 Kさん(21)</p>	県外の雇用と 給料の差 がある気がして...	
 <p>国際学部 Nさん(21)</p>	卒業した 学部 に 合った企業 がない...	



・ POINT3 ・
若者にとって魅力的な**企業**が不足している事が、**県外流出**を招いている。

2 - 6

現状より見つかった問題点のまとめ



3



人口流出問題解決への 政策提案

問題点の確認

・ POINT1 ・

人口流出による
若者の人口減少問題

・ POINT2 ・

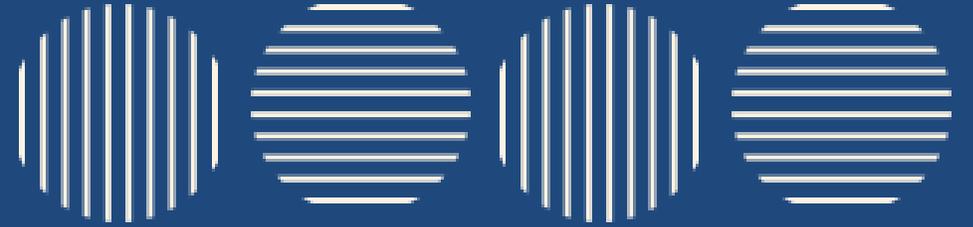
結婚件数の大幅減少

・ POINT3 ・

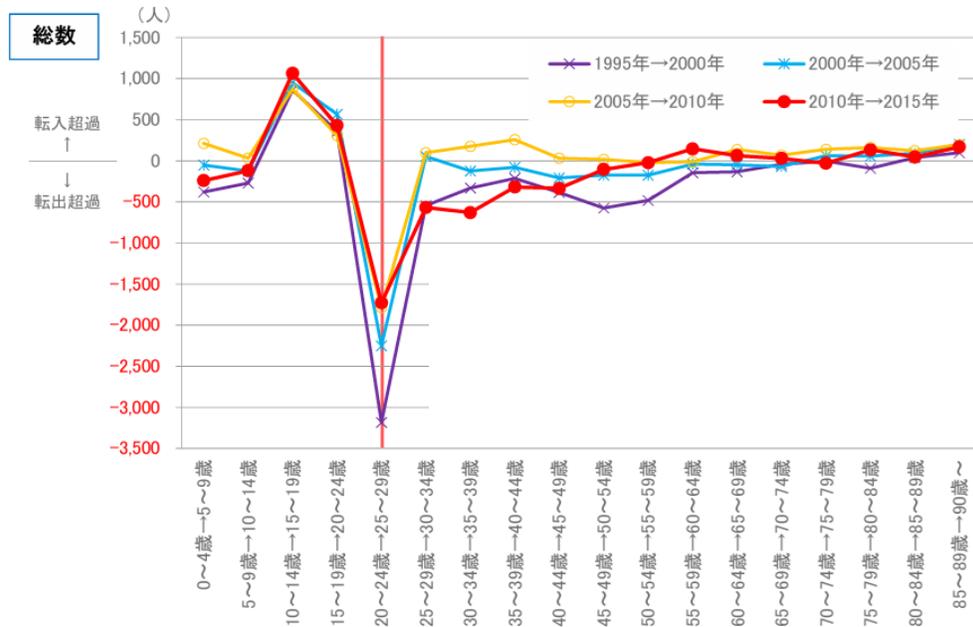
企業数による
就業機会の不足

3-1

人口流出対策の提案の目的と対象



甲府市の純移動数(転入数-転出数)



・ 目的 ・

県外への就職を防ぎ、甲府市に住んでもらい人口減少を緩和する。

・ 対象 ・

転出数の最も多い**20~25歳**の若者

3-2

人口流出対策の政策提案



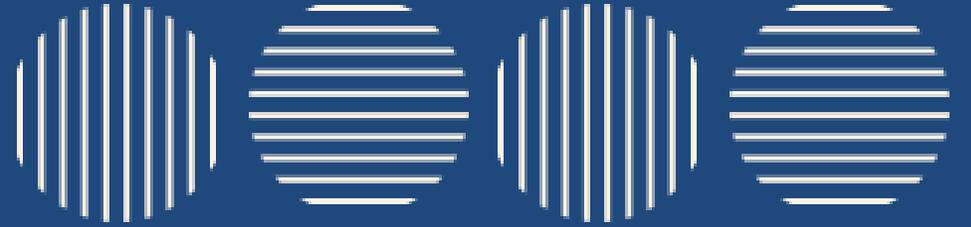
奨学金返済支援制度

甲府市に住みながら甲府市で働く若者の
奨学金の返済を甲府市が支援する取り組み



3-3

人口流出対策の提案の詳細



・概要・

7年間条件を満たしながら務めることで甲府市から満額支援金が交付されるシステム

・詳細・

1. 奨学金の50%を甲府市が負担する。
最大上限額は100万円とする。
2. 7年目で最大給付額である100万円の支援を受けられるように給付する。



・条件・

1. 新卒採用にて就職する者
2. 大学でJASSOの貸与奨学金の給付を受けた者
3. 甲府市に住所を置き勤める者

・ 詳細 ・

1. 奨学金の50%を甲府市が負担する。
最大上限額は100万円とする。
2. 7年目で最大給付額である100万円の支援を受けることができるように給付する。



1年目 15,000円

2年目 30,000円

⋮

7年目 500,000円

合計 1,000,000円

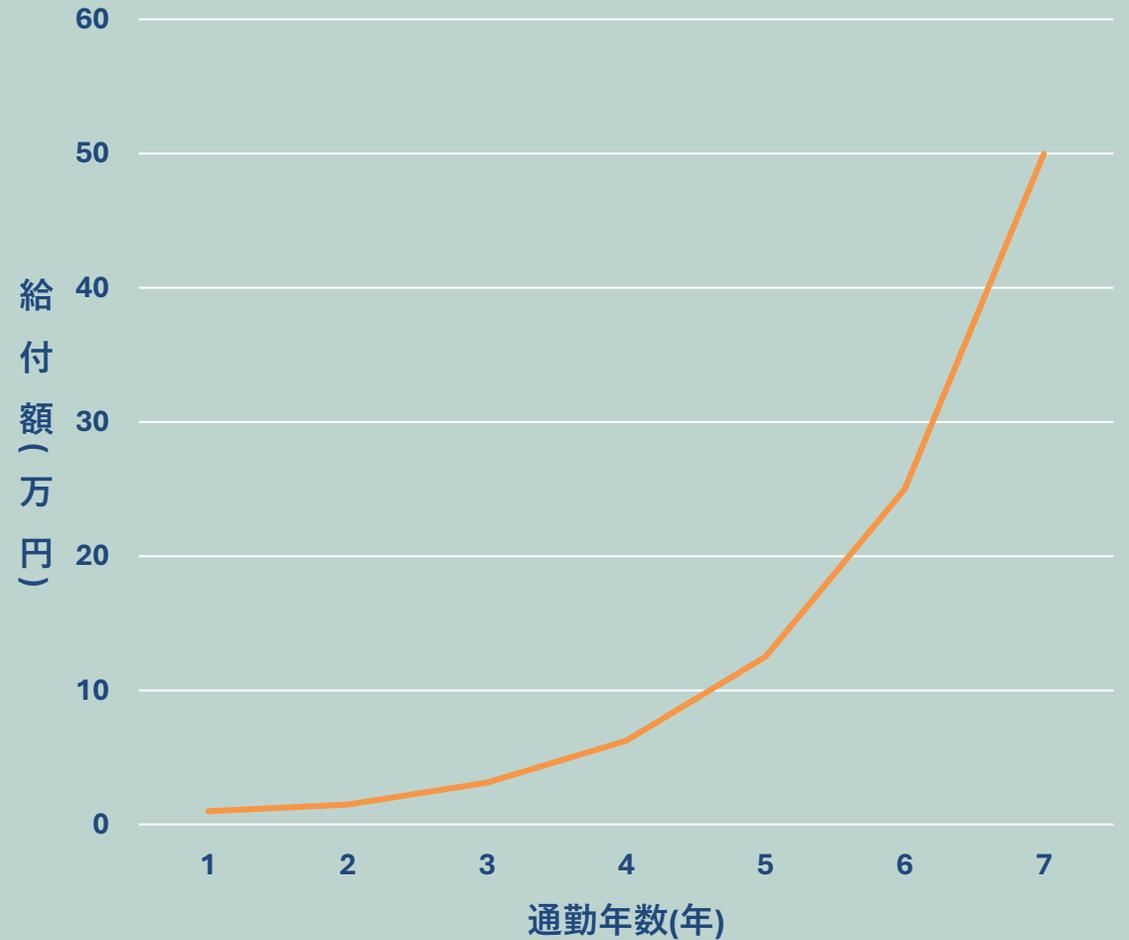
勤務年数に応じて
給付額が増加

少なくとも給付期
間の7年は定住

・ POINT ・

若者の長期的な甲府市への移住を促し
定住化を図ることで人口流出を防ぐ事ができる。

給付金増加量



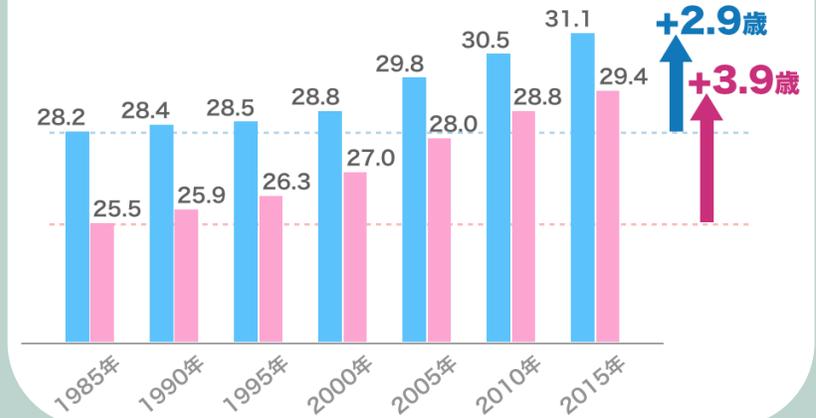
・ 補足① 7年の設定理由 ・

23歳 + 7年 = 30歳
↑
4年制大学卒業年齢

満期と結婚平均年齢を重ねる
結婚して定住を考える年齢

結婚平均年齢
男性：31.1 歳
女性：29.9 歳

男女の平均初婚年齢の推移



資料：内閣府男女共同参画局 R4 .2.7 結婚と家族をめぐる基礎データ

・ 補足② 住所変更と単身赴任 ・

住所変更

変更するその年まで支援金を受け取る。
あくまで支援金なので、変更後の返還義務は設けない。

単身赴任

- ・ 転勤や移動の理由
- ・ 家族が甲府市に住んでいるのであれば
継続して支援金を受け取ることができる。

奨学金受取金額の50%が100万円を超えている場合



Aさん

4年制大学に通っていた
奨学金受取額→260万円

支援補助金額→**100万円**
(最大支援上限額)

奨学金受取金額の50%が100万円未満の場合



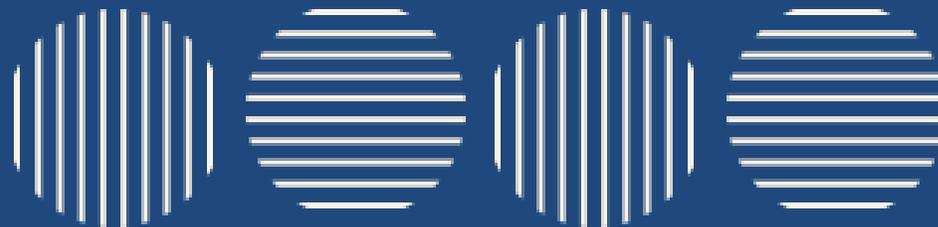
Bさん

2年制大学に通っていた
奨学金受取額→180万円

支援補助金額→**90万円**
(奨学金受取額の50%)

3-4

人口流出対策の提案のまとめ



甲府市内の人口が増加する & 人口流出を防ぐ



長期的な甲府市への定住を促す



甲府市内での就職率が上がる



若者のUターンを促すことができる

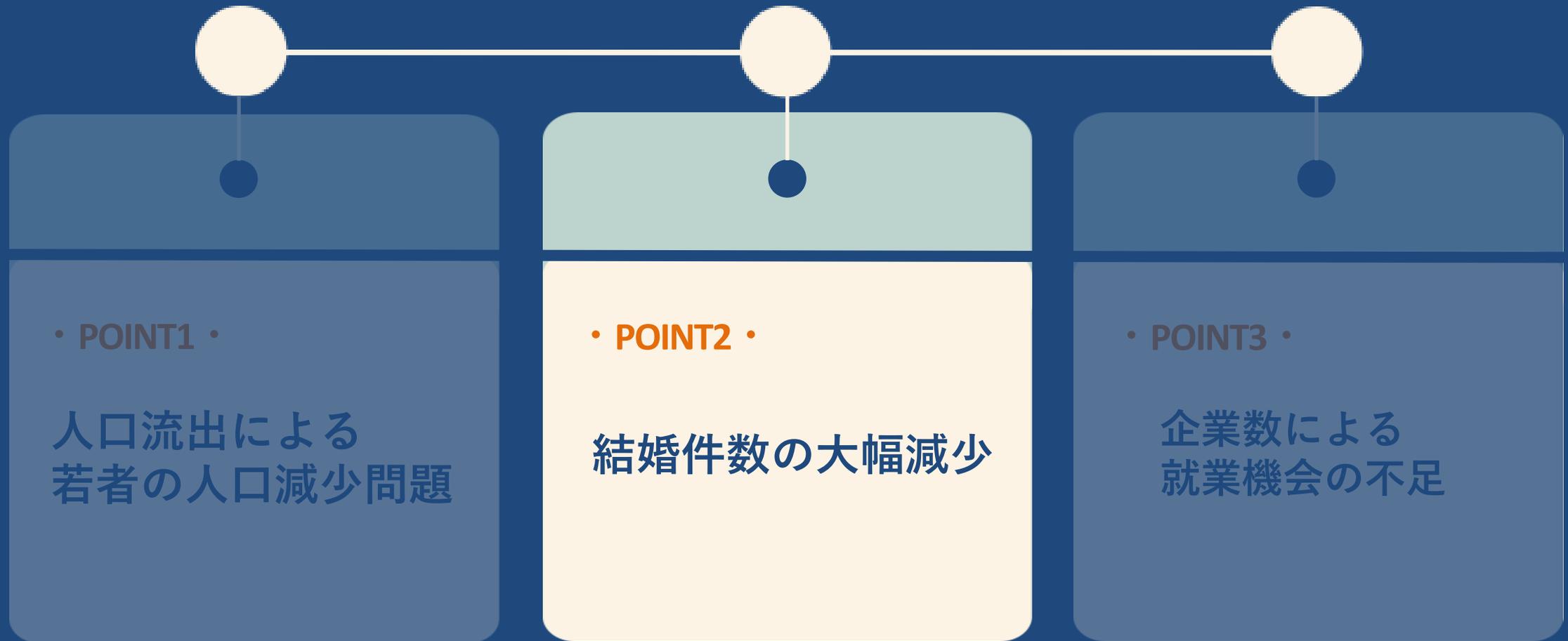


4



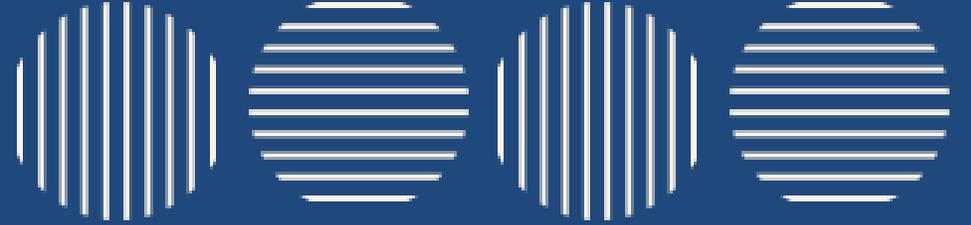
婚姻件数問題への 政策提案

問題点の確認



4-1

婚姻件数問題の提案の目的と対象



出会いの場がなくて
結婚のチャンスに出会えない...



経済的に**結婚後の子育て**などが考えられない...



安全な出会いを探しているが
詐欺などが心配で出会うことを控えてしまう...



・ 目的 ・

婚姻のきっかけを甲府市が提供することで婚姻件数の低下を抑制する。

・ 対象 ・

甲府市に住む未婚者 全員

4-2-1

結婚件数問題の政策提案①



行政によるマッチングアプリの作成

行政がマッチングアプリを作成することで
出会いの機会と安全性を強化する取り組み



4-2-2

マッチングアプリの利用現状

・ 独身者のマッチングアプリの利用状況 ・

2017年 9.1% → 2021年 21.8%

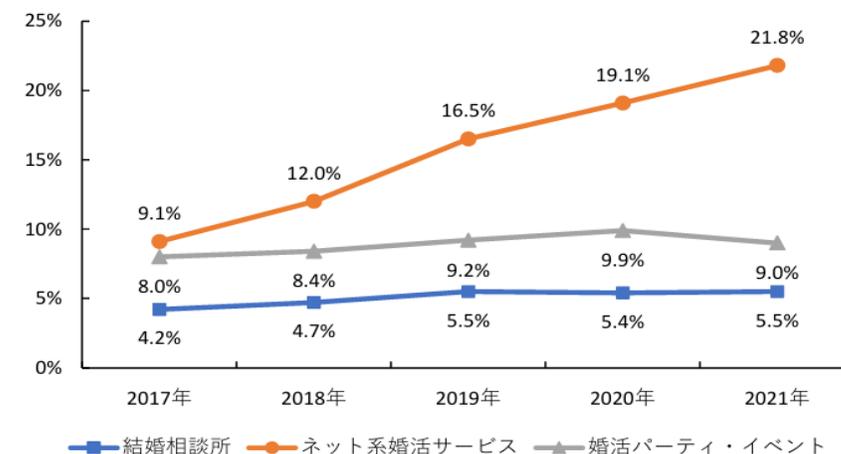
・ マッチングアプリの利用により結婚した人 ・

2011年 1.5% → 2020年 11.1%

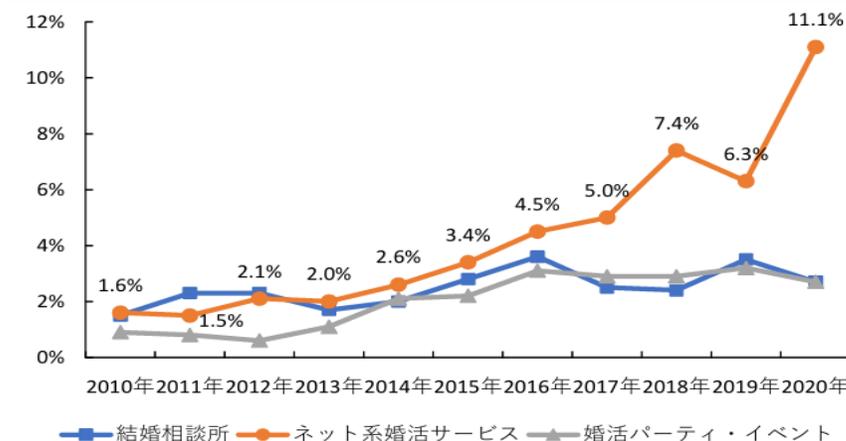
・ POINT ・

マッチングアプリの利用率は年々増加している。
しかし安全性に不安を抱える人も多い。

独身者の婚活サービスの利用状況(複数回答)

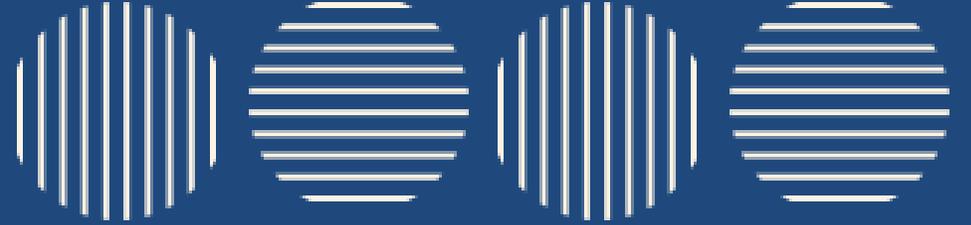


婚活サービスを通じて結婚した人の割合



4-2-3

人口流出対策①の提案の詳細



・概要・

行政が運営するマッチングアプリで安全な出会いの場を提供する。

・詳細・

－搭載機能－

- ・ AIによる相性診断
- ・ マッチング機能・ダイレクトメッセージ機能
- ・ 婚活イベント情報の提供、エントリー

－利用金額－

男性女性ともに月額500円

行政運営マッチングアプリを用いて
エントリーできるようになれば...

行政主催の婚活イベントへ参加しやすくなる。

アプリ会員限定の婚活イベント開催などを行い
会員特典を多く設ける

—登録に必要なもの—

- ・マイナンバーカード
- ・なければ身分証明書と
独身証明書

—POINT—

- ①マイナンバーカードの利用により
登録プロフィールへの**安全性を高める**。
- ②収入は基本公開しない。
→**気兼ねなく利用できる**ようにする。
→イベント参加時の条件とするだけでOK。

—利用までの流れ—

1

- ・仮登録
- ・面談日の予約

2

- ・面談にて誓約書の提出
- ・個人情報と照らし
合わせ本登録

3

市役所にて顔写真撮影

4

利用開始

4-3-1

結婚件数問題の政策提案②



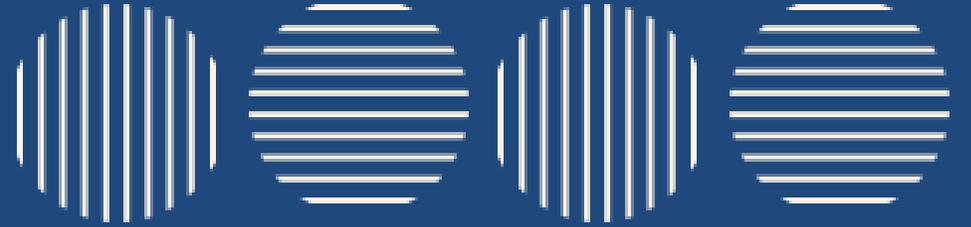
アプリ利用による婚姻出産プレゼント

マッチングアプリで結婚した人に行政から
結婚祝いのプレゼントを贈る取り組み



4-3-2

人口流出対策②の提案の詳細



・概要・

行政運営マッチングアプリの利用で結婚し、条件を満たした夫婦に**選べるプレゼント**を贈る。
さらに妊娠や出産のタイミングでも**子育て支援プレゼント**を贈る。

－ 詳細① 結婚プレゼント －

プレゼント内容

- ・ 結婚式の費用補助
- ・ ウェディングフォトの撮影・写真贈呈
- ・ 甲府市内のホテルの高級ディナーなどの招待券の贈与

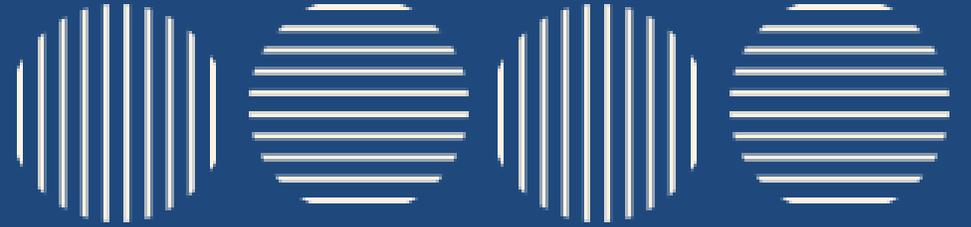
etc...

－ 受け取りまでの流れ －

1. 行政アプリを用いて結婚
2. 甲府市に住所を置く事の確認
3. プレゼントを一つ選ぶ
4. 行政から受け取る

4-3-2

人口流出対策②の提案の詳細



－詳細② 子育て支援プレゼント－

プレゼント内容

- ・ 消耗品引き換え券
→ オムツ、ミルク、お尻拭きなどの3000円券
月々 受け取れる(1歳まで12か月)

－プレゼント受け取りまで流れ－

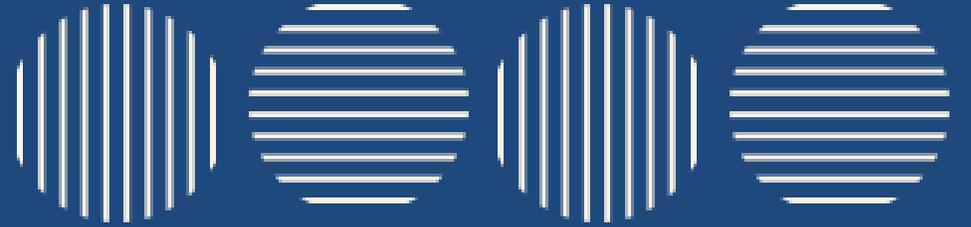
1. 行政アプリを用いて結婚
2. 妊娠
3. 出生届の提出、受取申請
4. 給付開始 (申請は1歳まで)

－POINT－

- ・ 行政が主催するマッチングアプリの利用率を向上させる→婚活が活発化
- ・ 婚姻プレゼントや子育て支援を行うことで、結婚件数低下も少子化も防ぐ。
- ・ 甲府市に住所を置くことを条件にする→県外流出や人口減少の対策になる。

4-4

結婚件数問題の提案のまとめ



気兼ねなく利用できるアプリを作ること
で婚活を身近なものに出来る。



行政が運営を行うことで安全性を高める



出会いの場の利用者が増え結婚件数の低下を抑え
将来的な少子化も抑制する。



結婚プレゼントを贈ること
で婚活がより活発化する。



5



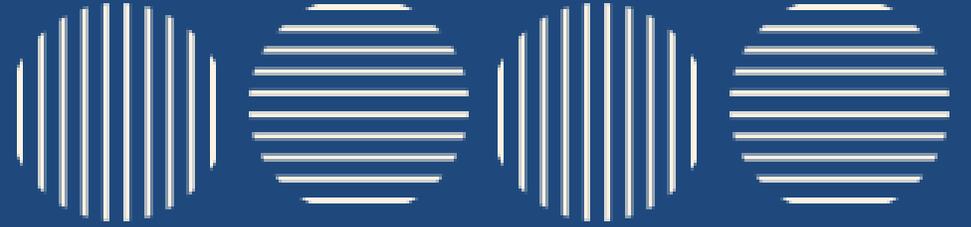
誘致による人口問題への 対策提案

問題点の確認



5-1

企業数問題の提案の目的と対象



経営学部 Sさん(21)



山梨県には魅力的な企業がないから県外で働くことを考えています。



国際学部 Nさん(21)



卒業した学部に合った企業がないので県外へ就職したいと思っています。

・ 目的 ・

若者の県外への流出を防ぐために企業数を増加させ雇用機会を増やす。

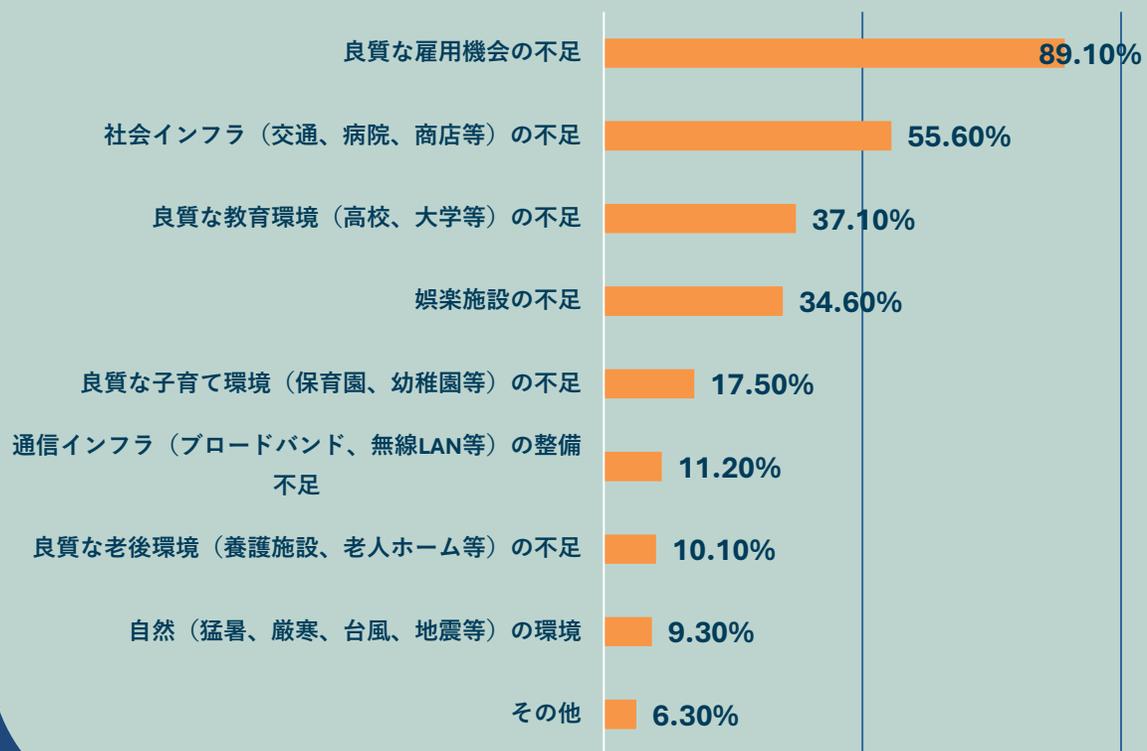
・ 対象 ・

山梨県にない企業 すべて

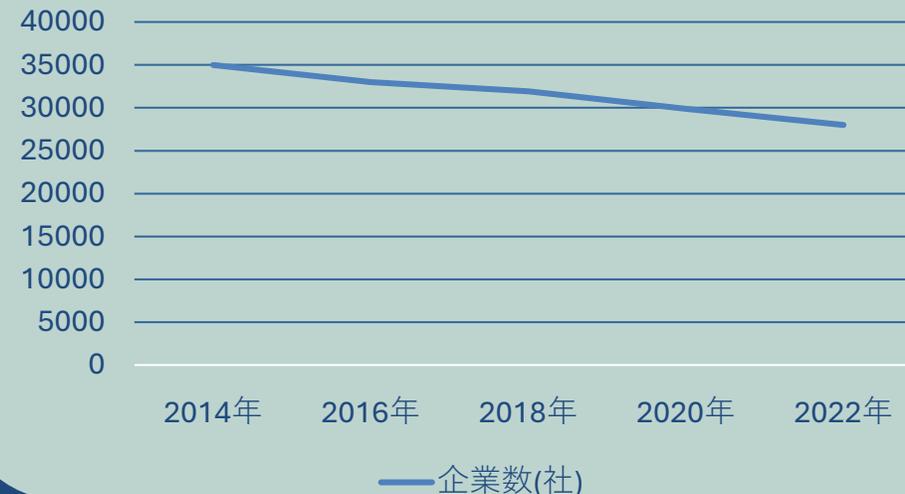
5-2

企業数問題の現状

地方公共団体が考える人口流出の要因



山梨県の企業数の推移



- POINT -

- ・ 人口減少の要因
→ 雇用機会の不足 **89.1%**
- ・ 企業数 **35000社(2014)→28000社(2022)**

企業数の減少は、働く選択肢の減少といえる。
人口減少抑制の弊害となると考えられる。

5-3

企業数問題の政策提案



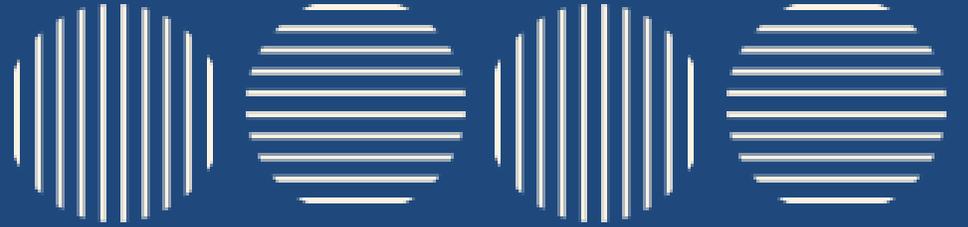
甲府市の特徴を生かした企業の誘致

魅力的な企業を甲府市に誘致する事で
企業を増やし就職機会を増加する取り組み



5-4

企業誘致の提案の詳細①



・概要・

甲府市内の**土地基盤を整備**し、**企業などの誘致を行える環境を作る**

土地基盤整備ができていないと、そもそも**企業を誘致することができない**
新都市拠点整備事業での土地基盤整備は**甲府駅周辺に範囲が限定**されている

例 北杜市
→農業生産基盤の整備 生産性の向上

企業向けに基盤整備の**範囲拡大が必要**

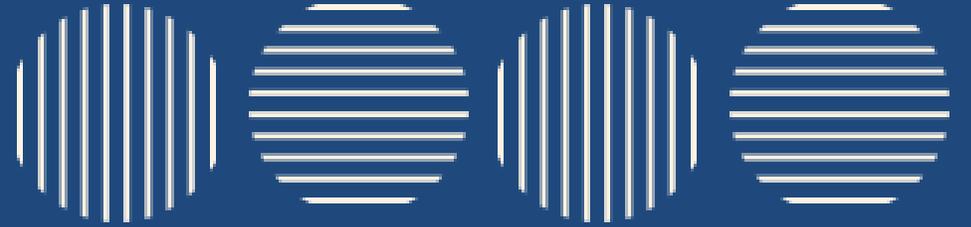


基盤整備→**誘致の準備**
その上で**誘致する企業を考える**

例
南甲府IC付近 →交通を活かせる企業
甲府中心部 →観光に適した企業

5-5

企業誘致の提案の詳細②



・概要・

基盤整備をした土地に、甲府市に根差した**企業を誘致**する

山梨の特色を生かした企業の誘致

甲府市はあまり土地がないので**高さのある建物**を活かせるような企業の誘致を行う。

甲府市の**強みや特色**を活かした企業...

- ・ **宝飾業** (交通も活かせる)
- ・ **観光業**

この二つの業界に焦点を当てて考える

－ POINT －

基盤整備を強化する事で、甲府市への**企業進出**してもらう**環境の整備**を行う。
企業を誘致し、若者の働く場の**選択肢を増やす**ことで**人口流出を防ぐ**

企業誘致の提案例①



宝飾企業

甲府市の強みである宝飾業を活かした企業

運搬など、交通を活かせる企業
さらに山梨県立宝石美術専門学校の
卒業後の働き口の少ない現状の解決

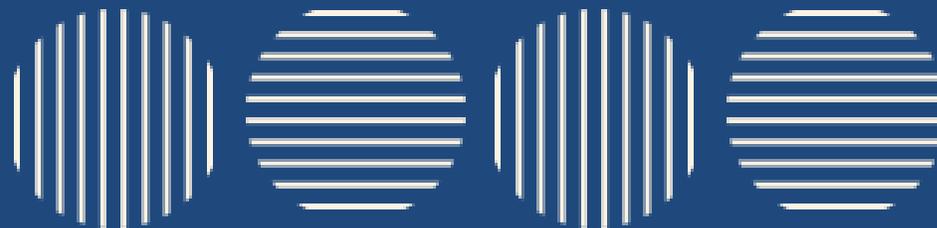
企業誘致の提案例②



観光ホテル企業

高さのある建物が活かせる企業
多くの従業員が必要となる

建物の構造を活かして
雇用人数の増加を図ることができる。



● **基盤整備**を行い、**企業誘致**のできる環境を**作り上げる**。

● 企業誘致により若者の**働く場所の選択肢が増える**事で**人口流出を抑える**事ができる。

● 市内で働く**若者の増加**が見込めるため**将来の甲府市の経済を豊かにする**。

● 企業の増加により**県外からの市民流入**も考えられる。

6



まとめ



6-1 まとめ

人口減少問題を少しでも良くするために3つの観点から政策提案を行った。すぐに政策として始められるものもあれば、時間のかかるものもあるだろう。

現代の生活に最も合った政策を考えていく必要がある。



そして現状から、町の環境に適した人口減少問題への政策を考え、前向きに準備して行くべきであるだろう。

甲府市における

人口減少対策に 関する提言

山梨学院大学 外川ゼミ Aチーム

ご清聴ありがとうございました。

